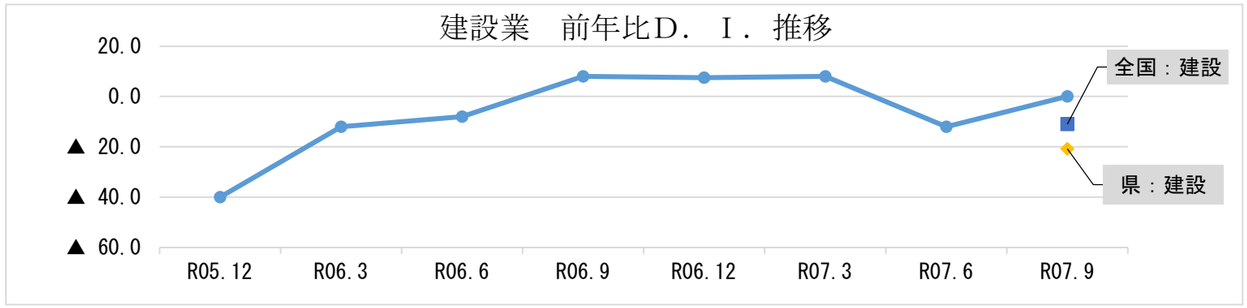
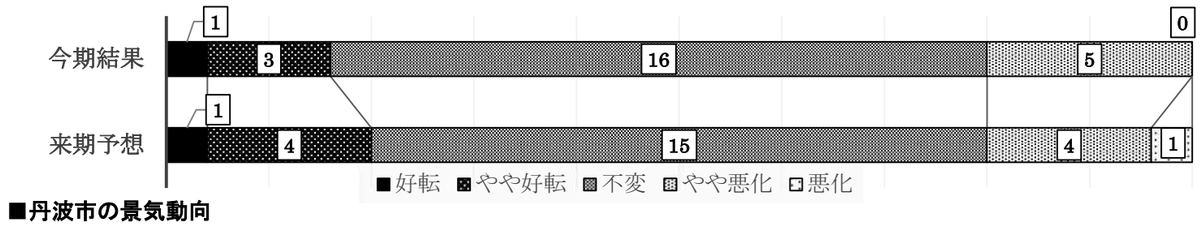
建設業

回答率：100%（25/25）

■丹波市の景況推移

DI は前期から若干改善した。公共工事の減少や人手不足、原材料費の高止まりなど複合的な要因が重なり、地域全体として景況感は横ばい傾向。今後の回復に期待が寄せられる。





■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

公共工事入札の減少や資材高騰により受注環境は厳しく、市内工事需要も低迷。市外での受注や非住宅工事で対応しているが、利益確保は難しい。熱中症対策や働く環境整備を進めつつ、今後の回復に期待が寄せられる。

【丹波市の来期の景況予想】

来期も公共工事や住宅需要の回復は見込みにくく、資材高や金利上昇が重荷となる。市外工事は堅調だが、人手不足も続き、景況は横ばい状況が続くと予想される。

■全国の景気動向

資材高騰を価格転嫁できた企業では利益率が改善するなど好調な動きも見られる。一方で、人手不足や職人高齢化、資材・労務費の高止まりが続き、工期遅延や資金繰り悪化が課題。新築住宅需要の減少や公共工事の減少も一部地域で影響し、全体として需要は堅調ながら供給制約が強く、業況改善は限定的な状況にある。

■県下の景気動向

売上額・収益 DI ともに低下し業況 DI はマイナス圏である。次期予想では、マイナス圏であるものの、売上額・収益 DI ともに改善する見込みである。

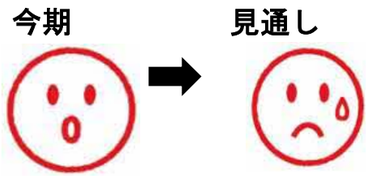
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	2	1	0	2	0	0	5	20.0%
不変	0	7	0	2	1	1	11	44.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	1	4	1	0	2	1	9	36.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

製造業

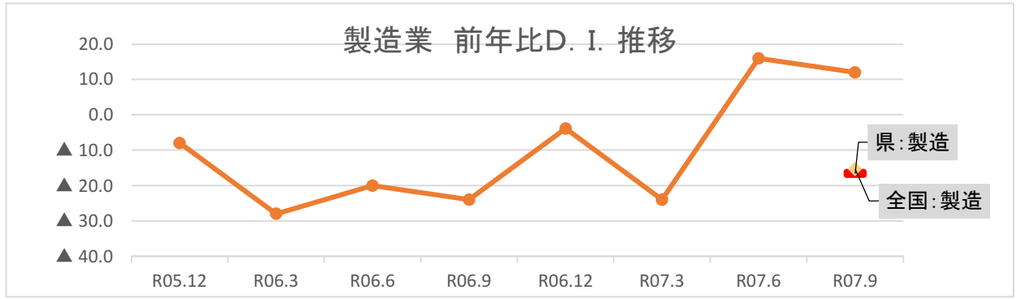
回答率：100%（25/25）

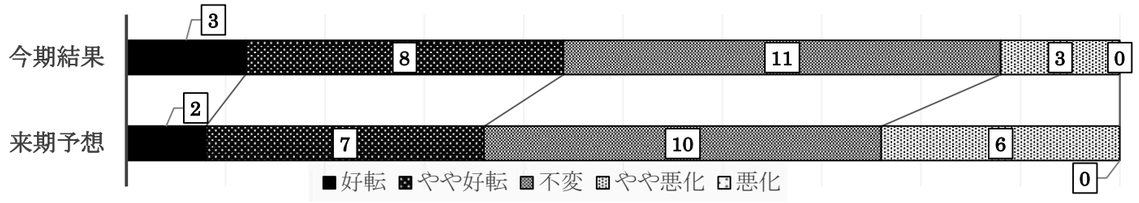
2025 年 7 月～9 月期調査



■丹波市の景況推移

前々期までマイナス圏だった景況は、新規受注増や同業者廃業による仕事量集中により回復傾向に転じた。しかし、最低賃金の上昇と原材料費の高騰に対し、加工賃単価が上がらない薄利経営が続き、機械更新などの設備投資が困難となっている。





■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

売上は増加または安定するも、もち米の価格が 1.5 倍超など仕入原価高騰と人件費増で採算は悪化し、利益が低下している。猛暑による支出増や効率低下、人件費の付随費用がカバーされないことも負担となり、人材不足で受注を外注するケースも見られた。

【丹波市の来期の景況予想】

来期は最低賃金引き上げや原材料費高止まりにより、利益圧迫が続くと見込まれる。人手不足と価格転嫁の困難さが重荷となり、依然として厳しい経営環境が予測される。

■全国の景気動向

全国景気 DI は 4 カ月連続で改善し 9 月 43.4 となったが、製造業 DI は 9 月 39.2 へ悪化した。小規模企業 DI は 9 月 41.5 と悪化傾向にあり、大企業との規模間格差は過去最大となるなど、採算悪化とコスト増が深刻である。

■県下の景気動向

近畿地域の DI は 8 月に改善が見られたが、丹波市を含む兵庫県下では受注の底堅さと人手不足・コスト高騰による収益圧迫が続いている。全国同様に価格転嫁が進んでいない状況が鮮明で、地域全体で停滞感が強い。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	1	4	1	1	2	1	10	40.0%
不変	1	2	2	1	1	1	8	32.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	0	3	2	1	0	1	7	28.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

小売、卸売業

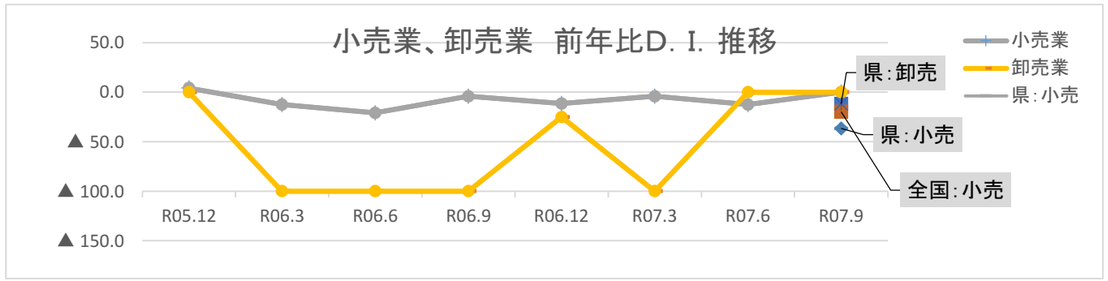
良い　やや良い　普通　少し悪い　やや悪い　悪い

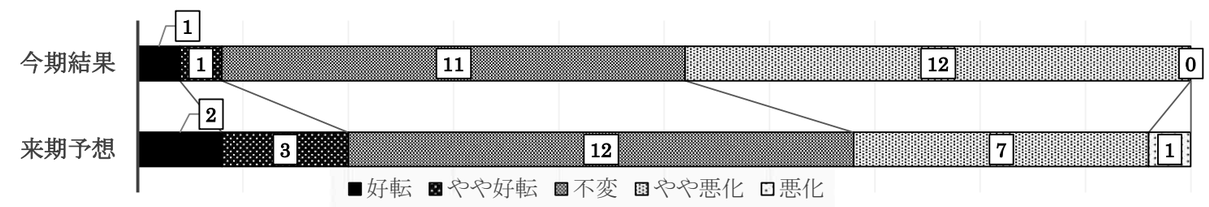
回答率：100%（25/25）

今期 ➡ 見通し

■丹波市の景況推移

上期は観光・行楽と連休需要で土産・食品が底堅い一方、衣料・贈答は伸び悩み。7-9 月は猛暑で来店頻度が鈍化し日配・飲料等は動くが、嗜好品は弱含み。





■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

猛暑と天候不順で外出が減り、来店は週末・イベントに偏在。飲料・冷菓・即食は伸長、生活必需は堅調だが、衣料・贈答は苦戦。値上げ定着で客単価は下支えも、光熱・仕入・人件費が利益を侵食。在庫圧縮と発注頻度の見直し、SNS 販促・予約取り置きなどで売上確保を図る局面。

【丹波市の来期の景況予想】

歳末商戦とふるさと納税返礼需要、鍋材・惣菜・ギフトがけん引見込み。値上げは据置～限定的にし、セット化・予約販売・EC 併用で客単価と歩留まりを改善。仕入高止まりと人手不足は続き、在庫最適化・販促集中（週末・催事連動）で「小幅改善～横ばい」予想が中心。

■全国の景気動向

物価高による実質購買力の弱さで選別消費が続く。ドラッグ・ディスカウント等は底堅い一方、百貨店・アパレルは地域差が大。輸入原材料と物流費の高止まりで粗利は圧迫。在庫調整と値引き最適化、EC と店舗のハイブリッド運用が進展。インバウンドは都市部で押上げ要因。

■県下の景気動向

県内小売の業況感は今期悪化、先行きは横ばい～小幅改善見通し。イベント・観光地は下支えするが平日需要は弱い。価格改定の定着と販促の巧拙が明暗を分け、在庫圧縮・発注見直し・地域回遊施策で底上げを図る動き。仕入・人件費・光熱費の高止まりが引き続きの重荷。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	1	3	0	1	0	1	6	24.0%
不変	1	3	0	3	2	0	9	36.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	4	3	0	1	1	1	10	40.0%
合計	6	9	0	5	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

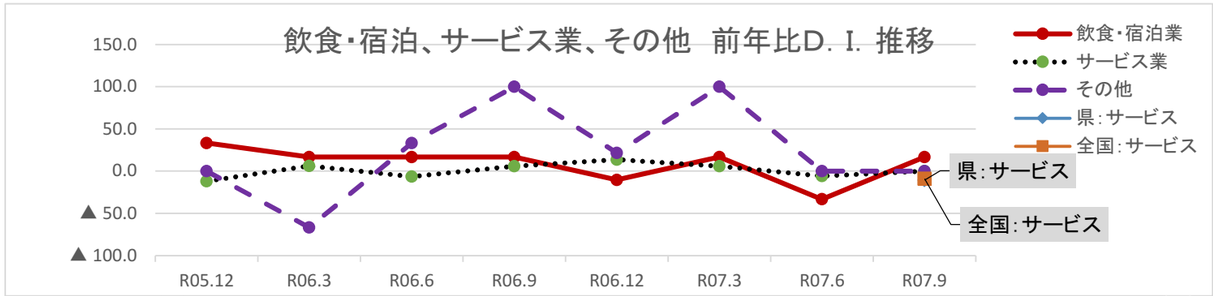
回答率：100%（25/25）

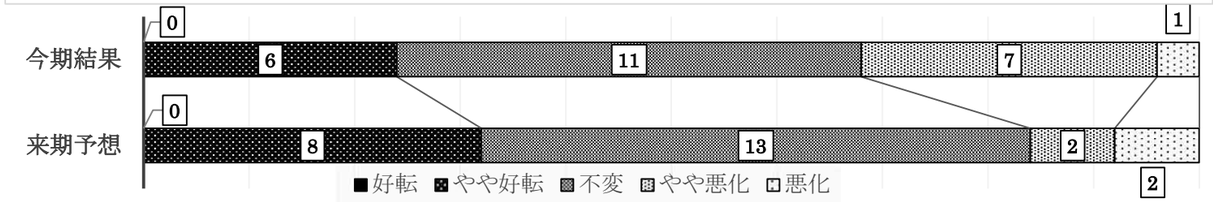
2025 年 7 月～9 月期調査

今期 ➡ 見通し

■丹波市の景況推移

第 1 四半期は行楽・観光需要の回復で売上は下支えされた一方、人件費・食材高で利益は伸び悩み。第 2 四半期は猛暑等で来客数が振れ、総じて横ばい～やや弱含みに転化。価格転嫁の進展と需要のばらつきが併存。





■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

帰省による需要が下支え。とくに家族層・グループ利用、地元イベント連動の伸びが目立つが全体的には厳しく、原材料・電気料金・最低賃金改定の先行対応などコスト増が圧迫。価格転嫁は進むが来店頻度の抑制も見られる。慢性的な人不足が続く。

【丹波市の来期の景況予想】

紅葉・新米・ジビエなど季節訴求で観光需要増加とともに人手は増加すると見られる。

価格は物価高騰により、値上げに踏み切る店舗も増えていくと考えられる。

人員確保と物価高騰対応が引き続き大きな課題となる。

■全国の景気動向

インバウンド・イベント需要で都市部を中心に回復が続く。外食は高付加価値・専門特化が堅調、総合型はコスト増の転嫁難が課題。宿泊は都市・観光地で稼働改善、地方は曜日偏在と人手不足が制約。物価高により消費は選別傾向が強く、小規模高効率運営への移行が進展。

■県下の景気動向

神戸・有馬・但馬・姫路など広域で観光回復の恩恵。週末偏重と人手不足が共通課題で、営業時間短縮や限定メニューで対応。仕入・光熱費は高止まり傾向、価格改定は段階的に継続。県内回遊・二次交通の整備、地域イベントの継続開催が下支え。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	1	5	1	2	0	0	9	36.0%
不変	1	3	2	0	1	0	7	28.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	3	1	1	2	1	1	9	36.0%
合計	5	9	4	4	2	1	25	100.0%